

■八橋検校 邦楽家。江戸期の天才音楽家。現行の箏曲の原点「六段」など、近世箏曲確立し、盲人音楽家專業化も実現。

やつはしけんぎょう

大坂冬の陣・1614＝ (豊前小倉など諸説あるが)磐城平城下で生まれたと考えられる。

徳川家康没・1616＝ 2歳：

菱垣廻船始・1619＝ 5歳：この頃、\_盲人の座に入り，座頭城秀と称する。

\_山野井検校に三味線を学び，

徳川家光將軍1623＝ 9歳：

イパニ断交・1624＝10歳：この頃，\*摂津大坂で加賀都(後の柳川検校)とともに三味線を弾き，三味線八橋流の祖となつたとされる。

胡弓の改良も行ったとされる。

徳川秀忠没・1632＝18歳：\_平藩主内藤忠興に招かれてか，江戸に出て，平藩の庇護を受け始め，

鎖国令Ⅰ・1633＝19歳：この頃，\_当道の“初度の上衆引”となるとともに，法水から筑紫箏を習得し，江戸で弾き始める。

東照宮完成・1636＝22歳：\_上洛し，寺尾検校城印のもとで勾当となり，親友の「色道大鏡」の著者藤本箕山の家に寄宿，その家来の山住氏が老母を扶持してくれる。このとき城言に箏を教え，城言は大坂の万重太夫という遊女に教えた。

1637＝24歳：江戸で鳳林承章に三味線を聞かせる。

1638＝25歳：この頃，\_肥前諫早に赴き，慶嚴寺の玄怒から秘曲を学んで，江戸に戻る。

鎖国令Ⅴ・1639＝25歳：再上洛して\*検校に登官，上永検校城談と名のり，後に八橋姓に改める。藤本家で筑紫箏の秘曲を弾き，のち座頭城連，城行らに伝授。

家光鎖国完成1641＝27歳：

\_歌人でもあつた藩主の子内藤風虎から才能を見出され，

明滅亡・・・1644＝30歳：この頃，\_箏組歌に取り組み始め，十三曲を予定して作詞もし，

\_風虎の改訂を受けるとともに不足する章の歌詞も与えられ，

\_楽器・爪を改作，手法を定め，筑紫箏とは異なる陰音階の調弦平調子を考案するなどして，

市中諸法度・1648＝34歳：この年から，\_新しい箏組歌を作曲，箏曲八橋流を創始し，

御蔭参流行・1650＝36歳：

徳川家光没・1651＝37歳：母？が死去。

承応事件・・・1652＝38歳：\*この年までに，「菜菔」以下のいわゆる八橋十三組が創作され，そのうち，「四季の曲」「扇の曲」「雲井の曲」は奥の“三曲”として重んぜられる。ほかに付物の「雲井弄斎」，秘曲の「古流四季源氏」などもあり，また器楽曲の「すががき」「りんぜつ」を発展させて，「乱」，さらに現行の箏曲の原点となる「六段」を成立させた。

明暦の大火・1657＝43歳：

朱舜水帰化・1659＝45歳：

松平信綱没・1662＝48歳：\_松平大和守邸に伺候して箏組歌や三味線組歌などを演奏している。この前後門下の北島検校も同邸に伺候している。弟子の太田城順が検校に登官。

殉死の禁止・1663＝49歳：\_平藩の扶持を停止され，京都に移住。

酒井忠清大老1666＝51歳：

京においては，綾小路烏丸西へ入町に居住し，

足利学校再建1668＝54歳：

・・・1670＝56歳：妻？が死去。

・・・1671＝57歳：\_当道職屋敷の十老に就任。

東西海運確立1672＝58歳：弟子の根尾城和を検校に登官させる。九老を経て，

三井越後屋・1673＝59歳：八老となり，

談林派俳諧・1675＝61歳：弟子の本坂城訓が検校に登官。七老から，

・・・1677＝63歳：

徳川綱吉將軍1680＝66歳：\_六老に昇進し，

堀田正俊暗殺1684＝70歳：

出世景清初演1685＝71歳：京都で，\_没した。